

目次

■ 提言の要約	1
■ はじめに	2
■ 現状分析と問題点	2
■ 提言	6
施策Ⅰ	
移住者と地域とを結ぶワンストップ総合相談窓口	6
施策Ⅱ	
空き家情報の収集及び利活用並びに空き家バンクの運営	9
施策Ⅲ	
生活体験ツアーの企画運営、情報発信	12
■ おわりに	14

【 提 言 の 要 約 】
都市から地方へ移住しよう
 ～団塊世代をターゲットとした空き家の利活用～

現
状

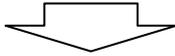
- 人口減少時代に突入し、都市には人口が集中する一方、地方では人口減少が進み地域の活力が低下している。
- 地方では空き家が多数発生し管理・防犯に関して問題が発生している。
- 「団塊世代」の約34パーセント（230万人）が他地域・複数地域に住むことを考えている。

目
標

- 空き家を活用し、団塊の世代を中心とした地方での生活を希望する人を招き入れることで、定住化を促すとともに地域活力の向上を図る。

課
題

- 移住者が求める情報をきめ細かに提供できていない。
（地域の取組状況、相談窓口、居住環境等）
- 市場に流通している空き家物件の質・量的不足が選択肢を狭めている。
（空き家の把握、所有権の問題、空き家内の整理等）



提
言

